



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 名村造船所 上場取引所 東
コード番号 7014 URL <https://www.namura.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名村 建介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員経営業務本部長 (氏名) 向 周 TEL 06-6543-3561
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 未定
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	60,619	8.7	6,569	29.5	9,058	22.3	7,591	33.6
2023年3月期第2四半期	66,403	78.6	9,323		11,659		11,438	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 13,179百万円 (21.4%) 2023年3月期第2四半期 10,857百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	109.54	108.64
2023年3月期第2四半期	165.52	164.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	145,525	62,796	43.0
2023年3月期	124,901	49,964	39.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 62,545百万円 2023年3月期 46,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		5.00	5.00
2024年3月期		5.00			
2024年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期の第2四半期末配当金については、今後開催予定の取締役会における、臨時計算書類承認後の配当決議をもって、正式に決定する予定です。詳細は本日発表の「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	8.8	14,000	45.9	15,000	31.9	13,000	16.1	187.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日発表の「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	69,345,051 株	2023年3月期	69,252,551 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	8,888 株	2023年3月期	8,639 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	69,302,637 株	2023年3月期2Q	69,104,010 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する説明	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する説明

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	66,403	60,619	△5,784	△8.7%
営業利益	9,323	6,569	△2,754	△29.5%
経常利益	11,659	9,058	△2,601	△22.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,438	7,591	△3,847	△33.6%

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は60,619百万円、営業利益は6,569百万円、経常利益は円安による為替差益(1,746百万円)の計上等により9,058百万円、税金等調整前四半期純利益は9,088百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は税負担増(前期比1,034百万円増)もあって7,591百万円となりました。

このように前年同期比では減収減益となりましたが、前年同期間における海外子会社の2隻の竣工時売船による増収(約100億円)・増益(約13億円)や工事損失引当金の戻し入れによる増益(約95億円)等の要因を剥落させれば当第2四半期連結累計期間は増収増益となります。

2023年7月6日に当社と日本鉄塔工業株式会社殿との共同企業体が静岡市清水区尾羽の国道1号静清バイパス道路工事現場において発生させた橋桁落下事故の処理に必要なと見込まれる費用につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績に含まれておりますが、詳細は次頁からの<セグメント別概況>(鉄構・機械事業)をご参照ください。

当第2四半期連結累計期間の為替レートは以下のとおりです。

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	差額
期末レート(第2四半期連結会計期間末)(注1)	144.81円/US\$	149.58円/US\$	4.77円 円安
売上高平均レート(第2四半期連結累計期間)(注2)	128.62円/US\$	143.44円/US\$	14.82円 円安
工事損失引当金適用レート(第2四半期連結会計期間末)(注3)	138.27円/US\$	144.63円/US\$	6.36円 円安

(注1)未入金かつ未予約のドル建売上高は当第2四半期連結会計期間末のレートでもって円換算しております。

(注2)売上高平均レートは、「為替予約済レートを含む円換算売上高総額」÷「ドル建て売上高総額」であります。

(注3)工事損失引当金適用レートは、翌四半期連結累計期間以降に売上計上予定の未予約ドル貨を円換算する際に使用している社内レートで、期末レートと直近3か月の日次平均レートを比較して円高となる方のレートを採用することとしており、当第2四半期の決算では直近3か月の日次平均レートを採用しております。

＜セグメント別概況＞

当第2四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高				営業利益(△は損失)			
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
新造船	52,320	45,819	△6,501	△12.4%	9,527	7,188	△2,339	△24.6%
修繕船	7,874	8,573	699	8.9%	464	647	183	39.6%
鉄構・機械	3,361	3,217	△144	△4.3%	52	△316	△368	—
その他	2,848	3,010	162	5.7%	250	221	△29	△11.6%
計	66,403	60,619	△5,784	△8.7%	10,293	7,740	△2,553	△24.8%
消去又は全社	—	—	—	—	△970	△1,171	△201	—
連結	66,403	60,619	△5,784	△8.7%	9,323	6,569	△2,754	△29.5%

〈新造船事業〉

当社および函館どつく株式会社における新造船建造工事は順調に進捗し、当連結累計期間の売上高は45,819百万円、営業利益は7,188百万円となりました。いずれも前年同期間比は下回っておりますが、前述のように前年同期間には海外子会社による2隻の竣工時売船取引による売上高や利益、多額の工事損失引当金の戻し入れ益が含まれております。

製造原価の過半を占める資機材価格の高騰が続いておりますが、海外を含むサプライチェーンを見直すとともに、設計と製造とのコラボレーションによるグループ一丸となった原価削減活動等に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、地球環境に配慮したLPG燃料対応大型LPG・アンモニア運搬船(VLGC)1隻、大型撒積運搬船2隻など計4隻を完工、大型撒積運搬船2隻など計12隻を受注し、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は277,763百万円(前年同期比24.7%増)となりました。

VLGCは、当社がこれまで建造した中小型LPG運搬船における知見と経験を基に、三菱造船株式会社殿との技術提携により建造・完工した第1番船であり、今後の主力商品の一つに成長するものと期待しております。

〈修繕船事業〉

函館どつく株式会社と佐世保重工業株式会社が担う修繕船事業は、艦艇や巡視船、探査船の検査・修繕工事に加えてLNG運搬船等の商船や漁船の修繕工事にも積極的に取り組み、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,573百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は647百万円(前年同期比39.6%増)となり、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は9,456百万円(前年同期比28.2%増)であります。

昨年秋に大型船建造ドックを修繕船との併用ドックに改造した佐世保重工業株式会社の第4ドックは要員の育成・強化も進み、グループの修繕船事業に大きく寄与しております。

〈鉄構・機械事業〉

舶用機械部門においては、日本の新造船建造量が昨年に引き続き低水準で推移していることから操業量の確保に苦しみ、鉄構橋梁部門においては7月6日に発生しました橋桁落下事故により当該工事の進捗が大幅に遅延していることもあって、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,217百万円(前年同期比4.3%減)にとどまりました。

損益面では、舶用機械部門が主要原材料であるインゴット価格の高騰に悩まされ、鉄構部門は橋桁落下事故に伴う費用を織り込んだことから、316百万円の営業損失(前年同期は52百万円の営業利益)となりました。

橋桁落下事故に伴う発生費用として、落下した橋桁の撤去費用および現場復旧費用、工期遅延に伴う損害賠償など計約5億円と見積り、第3四半期以降に損失の発生が見込まれる費用も当第2四半期末に工事損失引当金として計上しております。

当第2四半期連結会計期間末の受注残高は8,196百万円(前年同期比3.1%減)となりましたが、舶用機械部門においては新造船市場の好転に伴って今後の受注増が期待されます。鉄構橋梁部門では橋桁落下事故の対応を最優先させて信用の回復に努めるとともに橋梁以外の鉄構品の受注拡大を図ります。

〈その他事業〉

当第2四半期連結累計期間の売上高は3,010百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は221百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

当第2四半期連結会計期間末の受注残高は事業環境の好転により2,640百万円(前年同期比26.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2023年9月30日)	増減
総資産	124,901	145,525	20,624
負債	74,937	82,729	7,792
(内有利子負債)	(11,290)	(10,033)	(△1,257)
純資産	49,964	62,796	12,832
自己資本比率	39.8%	43.0%	3.2ポイント
有利子負債比率	22.7%	16.0%	△6.7ポイント

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、業績の好転や新造船の受注増による現預金、契約資産の増加、保有する投資有価証券の時価上昇等により前連結会計年度末に比べて20,624百万円増加して145,525百万円となりました。

負債は、新規受注案件の増加に伴う契約負債の増加により前連結会計年度末に比べて7,792百万円増加して82,729百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益7,591百万円を計上し、また、その他有価証券評価差額金が5,350百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べて12,832百万円増加して62,796百万円となり、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は3.2ポイント増の43.0%となりました。

当社グループは、今後も長期的視野に立ったグループ経営により、持続的発展に向けて財務状態を含む事業基盤の一層の強化を図るとともに、ステークホルダーとの良好な関係の構築に努めてまいります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関する事項につきましては、本日公表の「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,456	33,357
受取手形、売掛金及び契約資産	33,190	43,649
商品及び製品	115	81
仕掛品	3,513	3,225
原材料及び貯蔵品	1,232	845
その他	7,035	6,816
流動資産合計	74,541	87,973
固定資産		
有形固定資産	31,909	31,297
無形固定資産	358	348
投資その他の資産		
投資有価証券	17,257	25,001
その他	836	906
投資その他の資産合計	18,093	25,907
固定資産合計	50,360	57,552
資産合計	124,901	145,525
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,851	14,306
電子記録債務	5,057	5,558
短期借入金	3,554	2,722
未払法人税等	383	1,432
契約負債	25,152	31,163
工事損失引当金	898	309
保証工事引当金	388	352
その他	5,284	5,638
流動負債合計	55,567	61,480
固定負債		
長期借入金	7,736	7,311
その他の引当金	279	206
退職給付に係る負債	5,830	5,919
その他	5,525	7,813
固定負債合計	19,370	21,249
負債合計	74,937	82,729

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,168	8,189
資本剰余金	33,934	26,956
利益剰余金	△979	13,266
自己株式	△5	△5
株主資本合計	41,118	48,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,070	13,420
繰延ヘッジ損益	29	64
為替換算調整勘定	770	964
退職給付に係る調整累計額	△281	△309
その他の包括利益累計額合計	8,588	14,139
新株予約権	258	215
非支配株主持分	—	36
純資産合計	49,964	62,796
負債純資産合計	124,901	145,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	66,403	60,619
売上原価	54,386	50,967
売上総利益	12,017	9,652
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	954	1,070
その他	1,740	2,013
販売費及び一般管理費合計	2,694	3,083
営業利益	9,323	6,569
営業外収益		
受取利息	54	14
受取配当金	907	906
為替差益	596	1,746
持分法による投資利益	870	15
その他	151	34
営業外収益合計	2,578	2,715
営業外費用		
支払利息	124	145
その他	118	81
営業外費用合計	242	226
経常利益	11,659	9,058
特別利益		
関係会社株式売却益	—	30
投資有価証券売却益	34	—
特別利益合計	34	30
特別損失		
投資有価証券評価損	71	—
特別損失合計	71	—
税金等調整前四半期純利益	11,622	9,088
法人税、住民税及び事業税	425	1,459
法人税等調整額	△241	10
法人税等合計	184	1,469
四半期純利益	11,438	7,619
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,438	7,591

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	11,438	7,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,461	5,360
繰延ヘッジ損益	488	35
為替換算調整勘定	387	195
退職給付に係る調整額	△30	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	35	0
その他の包括利益合計	△581	5,560
四半期包括利益	10,857	13,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,857	13,143
非支配株主に係る四半期包括利益	—	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,622	9,088
減価償却費	1,740	1,803
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	59
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△9,460	△588
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△65	△114
受取利息及び受取配当金	△961	△920
支払利息	124	145
為替差損益 (△は益)	△228	△162
持分法による投資損益 (△は益)	△870	△15
雇用調整助成金	△102	△2
固定資産除売却損益 (△は益)	34	17
投資有価証券売却損益 (△は益)	△34	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△30
投資有価証券評価損益 (△は益)	71	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△7,841	△10,460
棚卸資産の増減額 (△は増加)	12,479	709
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,206	△44
未払金の増減額 (△は減少)	△701	△256
前渡金の増減額 (△は増加)	△3,412	△844
契約負債の増減額 (△は減少)	△3,024	6,011
その他	496	1,616
小計	1,068	6,013
利息及び配当金の受取額	1,382	920
利息の支払額	△106	△138
雇用調整助成金の受取額	109	2
法人税等の支払額	△290	△458
法人税等の還付額	111	208
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,274	6,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△824	△726
有形固定資産の売却による収入	30	41
無形固定資産の取得による支出	△71	△58
投資有価証券の取得による支出	—	△20
投資有価証券の売却による収入	100	—
貸付けによる支出	△6	△8
貸付金の回収による収入	622	5
その他	16	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133	△856
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,400	6,800
短期借入金の返済による支出	△1,381	△6,781
長期借入金の返済による支出	△731	△1,277
配当金の支払額	—	△346
その他	△111	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△823	△1,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	△91
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,261	3,901
現金及び現金同等物の期首残高	25,276	29,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,537	33,357

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月23日開催の第124回定時株主総会決議により、資本準備金を7,005百万円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を6,654百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	52,320	7,874	3,361	2,848	66,403	—	66,403
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	211	211	△211	—
計	52,320	7,874	3,361	3,059	66,614	△211	66,403
セグメント利益	9,527	464	52	250	10,293	△970	9,323

(注) 1 セグメント利益の調整額△970百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△965百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	45,819	8,573	3,217	3,010	60,619	—	60,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	271	271	△271	—
計	45,819	8,573	3,217	3,281	60,890	△271	60,619
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,188	647	△316	221	7,740	△1,171	6,569

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,171百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,166百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。